

「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先 0282-22-7079(増田)

Eメール oohirasanroku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索

192号

2023年6月23日発行

「軍拡では平和は守れない・9条守れ」 の声を大きくしていこう！



2015年9月、安倍政権は、国民の多くの反対を押し切って「安保関連法」を強行採決しました。これによって、日本が攻撃されなくても米軍とともに攻撃できる事態(存立危機事態)によって他国を攻撃できるようになりましたが、この「法」には「実行体制」が明記されていませんでした。

ところが、昨年12月に岸田内閣は「安保関連三文書」を閣議決定し、実行する体制づくりが明記されることになってしまいました。通常国会において「戦争国家づくり」を実行する法案の強行成立が続いています。「軍拡財源確保法案」「軍需産業強化支援法案」は、「実行体制」を確立するための財源の確保と増税、軍備調達のために軍需産業を支援する内容です。

「日本を守る」ためとしていますが、実際は日本を戦争に巻き込むための法案とっていいと思います。これらの法案が成立し実行されれば、日本は、他国に攻められてなくても攻撃できる、攻撃するための武器を持つことができる、米国を守るために他国を攻めることができる、「戦争を実行する国」になってしまいます。二度と戦争をしないと誓った憲法の精神、9条の精神が壊されてしまうことになります。実質的な改憲とっていいと思います。

9条を守るために活動している私たちにとって、重大な事態です。戦争を体験した先人の知恵が詰まった憲法を壊してはなりません。平和を守るのは、武力ではなく戦争をしないための対話外交です。いったん戦争になってしまうと泥沼に陥ることは過去の大戦や、今続いているウクライナ戦争の現状を見れば自明なことです。「抑止」とは相手に「恐怖」を与えることだといいます。「恐怖」からは平和は生まれません。「恐怖」は時として不測の事態を招くこともあります。「相手を武器で怖がらせるのではなく、話し合いを積み重ね、互いを尊重する関係を作り出す外交で平和を守る」ことが今求められています。国の進路を決めるのは私たち国民です。法案が通ってもあきらめることなく、「軍拡反対」「武器の増強より対話外交を」の声を、大きく上げていきましょう。署名活動、スタンディング、対話や集会、マスコミへのアプローチなど、各自のやり方で、いろいろ工夫しながら、岸田政権が押し進めようとしている路線がいかに危険かを多くの人に知らせていきましょう。そして「軍拡のための増税反対」「戦争する国にするな」の世論を大きくしていきましょう。多くの人が政治に関心を持ち、投票に行くように働きかけることも大切な活動です。
(板橋千代子 記)

◆ スタンディング

7月9日(日)市役所前 7月19日(水)とちぎコープ前 両日とも16時から

- ◆ スタッフ会議 7月14日(金)岩下の新生姜ホール(文化会館)・大会議室 13時30分から
- 7月28日(木)8月10日(金)8月25日(金) 楽習館2階 13時30分から



2023 九条の会全国交流集会



5月28日、日本教育会館で3月3日に亡くなられた九条の会呼びかけ人の一人である大江健三郎さんの志を受け継ごう、との気持ちを含めて交流集会が開かれた。参加者は290人。

事務局長の小森陽一さんは、大江さんが憲法にも教育基本法にも書き込まれている「希求する」という言葉の重さに触れ、憲法を読むときの流儀にしていたエピソードを紹介しつつ現政権が目指す改憲大軍拡政策は憲法を無視する危険な中身が含まれていると指摘した。

次に24人の全国の九条の会の取り組みが紹介された。特に印象深かったのは、全国首長九条の会三人の報告と主張だった。滋賀県米原市長の「九条は地方自治の問題」「2度と遺族会を作ってはならない」「平和の礎のもと平和憲法を守る」との発言は胸中に深く濃密に参加者の皆さんに刻まれた。その証拠に拍手が最も大きく長かった。

活動上の課題もある。どの会も共通しているようで、活動する者の高齢化。9の日行動、スタンディング、ピースパレード、通信やニュースの発行などの継続と活動の拡大などだ。2014年に東京新聞へのインタビューで大江さんが語った「政府が日本人を侮辱している」を受けて、主権者として真摯に考える必要があるとの見解があった。



翻訳家の池田加代子さんが語った言葉「『ウクライナを見ろ』と言われたら『戦争を始めたなら終わらせられない』と答えましょう」は示唆に富んでいた。最後に高田健さんが憲法改正の発議に関して、国民投票反対ではなく、改憲案の何が問題なのかを明確にして世論を作り出すことが肝要との指摘で終えた。

交流集会参加者の一人として大江さんの志ともいえる一文を添えておきたい。

「おもに人間の威厳についてかたりたいと思う。それこそが、僕の広島で発見した、もっとも根本的な思想だし、いま僕が自分の支えにしたいものはそれにこそほかならない」『ヒロシマ・ノート』1965年 岩波新書563 p95 (元井 茂 記)

お知らせ(関連団体を含む)



◆「戦争する国NO！県民集会&パレード」(県民ネット主催)

日時 2023年6月30日(金) 18:00 開場「第一会議室」

18:15 開始「集会・出発式」18:45 終了 19:00 パレード出発(県庁前から宮の橋まで)

場所 宇都宮市栃木県総合文化センター 第一会議室

◆「沖縄、再び戦場いくさばへ(仮)」スピンオフ作品(45分)の上映会(市民ネット主催) 無料

日時 2023年7月17日(月・祝日) 午後2時～午後4時

場所 とちぎ交流センター 大交流室

◆「平和をうたごえにのせて ～みんなで歌いましょう～」 無料 *詳しくはチラシをご覧ください

日時 2023年) 8月27日(日) 午後2時～午後4時

場所 とちぎ岩下の新生姜ホール(文化会館) 大会議室